

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
藤原 由衣子、牟田 美信			

講義概要	<p>1st Quarterでは海外の現地事情との把握・比較を前提として日本の現代事情を学びます。</p> <p>1) 情報収集を実践しながら手法を獲得します。</p> <p>2) プレゼンテーションを行う側として多く経験することで発言の機会に慣れ、且つプレゼンテーションを聞く側として、挨拶をはじめとするマナーを身につけましょう。</p> <p>2nd Quarterでは海外に旅行、留学、生活する際に最低限理解しておくべき外国の文化、現代事情を学びます。</p> <p>1) テキストにある情報を理解し、要約、グループ内での発表、質疑応答をします。</p> <p>2) 自分の興味ある国（留学予定先等）について調べ、まとめ、レポート提出をします。</p>
授業計画	<p>1 導入</p> <p>授業の内容・目標を把握し、授業開始時・外部講師をお招きする際のマナーについて実践する。自己紹介を含め班組をする中で現代の日本事情・世界事情について共有する。ルーブリック評価の仕方を学ぶ。</p> <p>予習：次回発表したいテーマに関する記事を教科書で読んでおく。</p> <p>復習：挨拶やマナーについて実践する。</p> <p>2 情報収集・発表1</p> <p>「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。</p> <p>次回発表したいテーマに関する記事を教科書で読んでおく。</p> <p>復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。</p> <p>3 情報収集・発表2</p> <p>「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。</p> <p>復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。</p> <p>4 講演1</p> <p>外国での経験がある人の話を聞き、現地事情を把握するための項目整理をし、自国との比較をまとめる。</p> <p>予習：次回発表したいテーマに関する記事を教科書で読んでおく。</p> <p>復習：講演についてまとめ、自国との比較をレポートにする。</p> <p>5 情報収集・発表3</p> <p>「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。</p> <p>復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。</p> <p>6 講演2</p> <p>外国での経験がある人の話を聞き、現地事情を把握するための項目整理をし、自国との比較をまとめる。</p> <p>予習：次回講演をいただく国について基本情報を仕入れておく。</p> <p>復習：講演についてまとめ、自国との比較をレポートにする。</p> <p>7 講演3</p> <p>外国での経験がある人の話を聞き、現地事情を把握するための項目整理をし、自国との比較をまとめる。</p> <p>予習：1st Quarterでの学びを振り返る。</p> <p>復習：講演についてまとめ、自国との比較をレポートにする。</p> <p>8 まとめ</p> <p>1st Quarterで経験したことを通して、実際に身に付いた/まだ身に付けられておらずこれから身に付けたい ことをまとめ、レポート形式でまとめる。</p> <p>復習：1st Quarterを振り返りながらレポートを書き進める。</p> <p>9 情報収集・発表4</p> <p>世界の「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。</p> <p>次回発表したいテーマに関する記事を教科書で読んでおく。</p> <p>復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。</p> <p>10 情報収集・発表5</p>

	<p>世界の「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。 次回発表したいテーマに関する記事を教科書で読んでおく。</p> <p>復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。</p> <p>11 情報収集・発表6 世界の「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。 次回発表したいテーマに関する記事を教科書で読んでおく。</p> <p>12 復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。 情報収集・発表7 世界の「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。 次回発表したいテーマに関する記事を教科書で読んでおく。</p> <p>13 復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。 情報収集・発表8 世界の「最新の現代事情」に関して項目別に、内容理解、要約、グループ内発表、ディスカッション</p> <p>予習：発表したテーマについて質問があった際には、次回までに答えられるよう情報収集をしておく。 レポート作成の方向性を決める。</p> <p>14 復習：自分が発表したテーマ、グループ内で興味を深めたテーマを反芻しておく。 レポート作成・情報交換1 国の自分の興味ある（留学したい）国を1つ選び、調査、レポート作成</p> <p>予習：調査を重ねつつレポートを書き進めておく。 復習：レポート作成材料にするべく、もらった情報・意見をまとめる。</p> <p>15 レポート作成・情報交換2 国の自分の興味ある（留学したい）国を1つ選び、調査、レポート作成</p> <p>復習：レポート作成材料にするべく、もらった情報・意見をまとめる。</p>
授業形態	講義
到達目標	<p>1st Quarter到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 多文化の観点から見た自国の文化の特徴を再認識する。 ② 人の話を聞く姿勢を意識し、人を招いた際のマナーを身に付けることができる。 ③ 情報収集の仕方を身に付けることができる。 ④ ワークショップ形式で個人個人のリーダーシップ・責任感を育てることができる。 ⑤ チームワーク、共同作業、協調性、問題解決能力を向上させることができる。 <p>2nd Quarter到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 多様な文化があることを認識することができる。 ② 再認識した自国の文化の特性を見直し、異文化間交流の際の助力にできるようにする。 ③ コミュニケーション力の向上、調査・まとめ・発表能力を向上させることができる。 ④ ワークショップ形式で個人個人のリーダーシップ・責任感を育てることができる。 ⑤ 実践タームの国内外学外実習に向けての準備（現地での衣食住、生活習慣の前知識、等）をする。
評価方法	レポート（50%）、発表・ディスカッションに関してルーブリック評価（50%）
評価基準	上記方法・割合で評価する。
教科書・参考書	プリントで配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	金曜日3・4コマ目
備考・メッセージ	色々な人の発表の仕方・情報のまとめ方を知り、自分の技術に活かしていきましょう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
章 潔			

講義概要	本授業は日本の衣生活、食生活、住生活、つきあいの四つに分かれ、日本文化を解説するものである。日本における日常生活での衣食住にまつわるしきたりや人とのつきあい、とくに「個人より組織優先」、「ウチとソト」、「上下関係」などの行動様式については、留学生には奇異なもの、不可解なもの映るようである。本授業では、なぜそうするのか、なぜそうなったのかなど、それぞれの時代背景を説明することによって、少しでも日本の文化への誤解をなくし、外国から来た留学生が日本の社会で気持ち良く暮らせるようにしたい。		
授業計画	1	衣生活① 学習課題 復習：日本文化に対する不可解な点を自分なりにまとめておく。 予習：日本の衣生活	
		① 紋付き羽織袴 ② 留袖 ③ 振袖	
	2	衣生活② 学習課題 復習：衣生活①の内容 予習：日本の衣生活	
		① はっぴ ② はんてん ③ ゆかた	
	3	衣生活③ 学習課題 復習：衣生活② 予習：日本の衣生活	
		① 背広 ② 学生服	
	4	食生活① 学習課題 復習：衣生活③ 予習：日本の食生活	
		① 和食の特徴 ② 米 ③ 旬 ④ 和食器 ⑤ 盛り付け	
	5	食生活② 学習課題 復習：食生活① 予習：日本の食生活	
		① 本膳料理 ② 懐石料理 ③ 会席料理	
	6	食生活③ 学習課題 復習：食生活② 予習：日本の食生活	
		① 食事のマナー ② 箸の使い方	
	7	食生活④ 学習課題 復習：食生活③ 予習：日本の食生活	
		① おせち料理 ② そば すし てんぷら ③ すきやき カレーライス ラーメン	
	8	住生活① 学習課題 復習：食生活④ 予習：日本の住生活	
		① 玄関 ② 和室 ③ 押入れ	
	9	住生活② 学習課題 復習：住生活① 予習：日本の住生活	
		① 台所 ② 風呂	

	<p>1 0 ③ 手洗い 住生活③ 学習課題 復習：住生活② 予習：日本の住生活</p> <p>1 1 ① 礼金・敷金・仲介料 ② 賃貸契約 ③ 入居時注意事項 ④ 退居時注意事項 ⑤ 連帯保証人 つきあい① 学習課題 復習：住生活③ 予習：日本のつきあい</p> <p>1 2 ① 「ウチ」と「ソト」 ② 敬語 ③ 先輩 後輩 つきあい② 学習課題 復習：つきあい① 予習：日本のつきあい</p> <p>1 3 ① もてなし ② 贈り物 ③ お返し つきあい③ 学習課題 復習：つきあい② 予習：日本のつきあい</p> <p>1 4 ① 手紙 ② はがき・年賀状 ③ 名刺交換 つきあい④ 学習課題 復習：つきあい③ 予習：日本のつきあい</p> <p>1 5 ① 結婚式・披露宴に出席 ② 通夜・葬式に参列 ③ 冠婚葬祭 総括 学習課題 復習：つきあい④ 予習：発表の練習</p> <p>① 課題として発表原稿を仕上げる ② 発表する</p>
授業形態	講義
到達目標	<p>① 積極的な交流により、他人を理解し、他国の文化を理解することができる。</p> <p>② 日本の文化事情と自国の文化事情と比較できる。</p> <p>③ 日本文化事情に関する用語や事象を理解できる。</p> <p>④ 留学生同士および日本人学生と積極的に交流を図ることができる。</p> <p>⑤ 再認識した日本文化の特性を見直し、異文化間交流の際に助力にできるようにする。</p>
評価方法	授業中の学習態度・意欲、定期試験の結果によって総合的に評価する。
評価基準	授業態度・授業への参加30%、宿題・授業外レポート30%、定期試験40%
教科書・参考書	教科書：『しきたり』、国際日本語研究所編、アプリコット出版社。
履修条件	平成28年度以降の入学者（留学生）
履修上の注意	本授業は「日本文化を知る」ということを目標とし、多種多様な文化事情について、継続的に聞き、理解する努力を重ねることによって、多文化理解力を身につけるものである。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	学生には日本文化事情に興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組むことを期待する。